

平成30年度 事業報告書

平成30年 4月 6日から平成31年 3月 31日

特定非営利活動法人山王学舎

1 事業の成果

福岡市博多区春住校区と那珂校区のフリー校区に山王学舎は立地しています。放課後の子どもの健全育成事業として、両区の子どもを中心とした各事業を行い、多くの子どもやその保護者、そして小学校中学校の教育関係者の学校と家庭以外の第3の居場所として認知が進み始めました。事業を進めるにあたり運営面においては、団体自己資金だけでなく、設立初年度から自治体からの補助金や助成団体からの助成金を獲得し、広く市民の支援につながる取り組みを行うことができました。そのような団体の信用の高まりから、個人からの物品寄付や寄付金の申し出も始まりました。また、フードバンク福岡と食材提供の協定書を取り交わし、山王学舎子ども食堂事業の食材資材の補助とすることが出来ました。

事業面では、大きく4つの子どもを対象とした事業を行い、そのいずれも初年度の参加見込みを上回る受益者の参加がありました。特に放課後の学習支援は地域の課題や取り組みとして大きなニーズがあり、受益者の口コミから新たな参加者が生まれるなど、相乗効果も見られました。低廉な受益者負担が参加者の獲得に大きく寄与しており、そのことが団体信用にもつながり、地域の学校関係者にも来訪・見学・支援相談など、教育の一助としての拠点化が始まっています。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
①経済的な困難を抱える子供や地域の子供を対象とした総合的学習支援事業	放課後の子ども達の自学に際しての補助を行い、自学の習慣化を図る。エラーニングを活用した総合学習支援。	4月6日より3月31日までの毎日約350日	春住公民館及び山王ひなた美術教室及び山王学舎	4人	地域の小学生及び中学生、年間延べ1200名	900
②経済的な困難を抱える子供や地域の子供を対象とした美術造形活動事業	学習に興味を持たない子どもへの学びのアプローチとしての美術造形制作と遊びの活動	9月1日より毎週金曜日土曜日開催。約60日	福岡市博多区博多駅南6-5-2山王学舎	2人	地域の小学生及び中学生、年間延べ300名	500
③ひとり親世帯や共働き世帯の子どもを対象とした見守り居場所事業	親の仕事による留守家庭の支援として、放課後の子ども達を擁護養育する放課後学童クラブ事業	9月1日より毎週平日から土曜日開催。約175日開催	福岡市博多区博多駅南6-5-2山王学舎	4人	地域の小学生及び中学生、年間延べ800名	1,500
④障がいを抱えた子どもと一緒に学ぶインクルーシブ教育事業	共生社会の理解や実現に向かって、学習障害・発達障害の子ども分け隔てなく接して教育支援活動に参画する事業	4月6日より3月31日までの毎日約350日	福岡市博多区博多駅南6-5-2山王学舎	4人	地域の小学生及び中学生で生きにくさや障がいを持つ子ども。年間延べ300名	206
⑤上記各号の子ども達を対象とした子ども食堂事業	日曜日の夕食提供を核に、経済的に困難を抱える家庭だけでなく、地域の育みとして、食堂を通じた子育て情報交換や支援を結ぶ食堂事業。	10月より月1回指定日曜日開催、計6回	福岡市博多区博多駅南6-5-2山王学舎	5人	地域の子ども(幼児・小学生・中学生)とその保護者、地域の大人。子どもは無料、大人は有料。延べ約180名が利用	164
⑥子どもの貧困やインクルーシブ教育に関する講演・イベントの企画・運営事業	実施しませんでした。					
⑦子育て・子育ての親子の情報交換交流事業	幼児期や小学生、中高生の子どもを抱える家庭の教育情報の交換や、親の集会所としての提供事業。	10月より月1回指定日曜日開催、計6回	福岡市博多区博多駅南6-5-2山王学舎	5人	地域の子ども(幼児・小学生・中学生)を抱えている保護者、地域の教育関係者。約60名	0
⑧その他目的を達成する為に必要な事業	実施しませんでした。					

(2)その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額 (千円)
① 飲食事業	地域近隣の社会人や地域の人に昼の時間での定食提供、夕方以降の夕食提供を行う事業ですが実施しませんでした。				
② 物販事業	実施しませんでした。				
③ 出版事業	実施しませんでした。				